

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 昨年度の授業改善プラン

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>○スキルアップタイムを確保する。</li> <li>・感覚運動につながる運動を行う中で、主運動につながる基本動作を確認させ確実に実践させる。</li> <li>○技能習得のために、習熟段階に応じて複数の場を用意する。</li> <li>○見本動画を視聴して、正しい動きを身に付けさせる。</li> <li>○目的に応じて音楽をかけて運動させ、リズムに合わせたり、一定の動きを持続させたりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○シェアタイムを確保する。</li> <li>・見つけたポイントを紹介し合ったり、アドバイスし合ったりさせる。</li> <li>・友達の良い動きを見たり、どうしたらできるようになるかを考えさせたりする。</li> <li>○児童に自分のめあてを達成させるために、複数の場を用意し選べるようにする。</li> <li>○自分が運動している場面を動画で撮って見ることで、児童にできていることとできていないことを確認させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○運動の始めや途中で、想定できる安全への配慮や運動の約束を共有させる。</li> <li>○教師が、各運動領域の動きの特性を十分に理解した上で、場や用具を工夫し、運動に取り組みやすくさせる。</li> </ul>

(2) 成果

- ・各領域、授業時間の最初にスキルアップタイムを設けたことで、動きのポイントを理解できる児童が増えた。技能の向上から、運動にすすんで取り組む児童が増えてきた。
- ・ゲームの前にシェアタイムを設けたことで、チームの課題に応じた練習を行い、児童が自分のチームの課題をより意識し、運動を通して、解決に向け、主体的に取り組む姿が見えてきた。  
(高学年)
- ・ウォーミングアップで音楽を取り入れるなどの工夫をしたことで、児童の意欲を高めることができた。

(3) 課題

- ・技能面で、**下学年からの積み重ねができていないところがある。**十分に運動の基礎・基本の技や動きを身に付けているとは言えず、**個人差がある。**
- ・学習中にシェアタイムを確保したが、仲間の良い動きや動きのポイントを見付けたり、めあてを達成させるための手段を自分で見出したりすることが難しい。
- ・低学年、中学年は意欲が高くすすんで運動に取り組むが、**高学年になると運動能力に差がつくことにより、意欲が低下する児童が見られる。**
- ・運動の約束（ルール等）をしっかりと意識付け、安全に運動させる必要がある。

### 3 授業改善のポイント（観点別）

#### (1) 低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>○運動遊びの場の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・運動遊びの種類を増やしたり、コース別に工夫を行ったりすることで、楽しみながら、<b>基本的な動きを身に付けさせる。</b></li> </ul>	<p>○遊びの場の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個人で遊びの場を表現させたり、考えたことを他者に伝えたりする。</li> </ul>	<p>○集団での場を設定させる学習活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他者と仲良く場の準備を設定したり、協力したりすることを通して、主体的に活動に取り組む態度を育てる。</li> </ul>

#### (2) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童が「できた」「わかった」などの成功体験を得やすいように、ルールや場の工夫をして運動に取り組ませ、運動技能の向上を図る。</li> <li>・基本的な動きや技能を身に付けるために、<b>スモールステップで、段階を追って発展させていく。</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童が自己の課題に適した運動の行い方や場を選ぶことができるようにする。</li> <li>・シェアタイムで、気付いたことや考えたことを伝え合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>運動の楽しさを味わわせ、誰とでも仲良く運動するよさを感じさせ、主体的に運動に取り組ませる。</b></li> <li>・振り返りの時間などで、他者と学習の成果を認め合うようにする。</li> </ul>

#### (3) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・スキルアップタイムで、主運動に繋がる基本動作を確認させ、実践していき、運動の特性に応じた技能が身に付けられるようにする。</li> <li>・<b>見本の動画</b>を活用して、児童に正しい<b>動きのポイント</b>を理解させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>学習内容に応じたためあてを明確にもたせ</b>、自己の能力に適した課題の解決の仕方や運動の取り組み方を工夫できるように、運動の行い方を選べるようにする。</li> <li>・タブレット等を活用して、自分の動きを見たり、よい動きを見合ったりする活動を取り入れる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習カードを活用し、毎時間の自分の成長を実感させるとともに、学習の見通しをもたせられるようにする。</li> <li>・シェアタイムなどで児童同士が励まし合い、認め合う場面を多く設定し、運動する意欲を高められるようにする。</li> </ul>